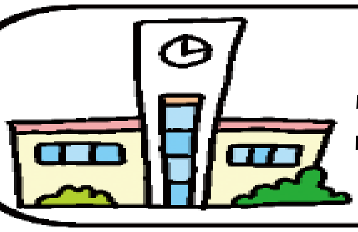

大東小学校　学校運営協議会

コミュニティ・スクールだより

令和６年１２月１２日号

令和４年度より大東小学校はコミュニティ・スクールとなり、今年度が３年目です。１２月１０日（火）には、第２回学校運営協議会を開催しました。コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者等が学校運営に参画し、連携・協働して学校運営に直接関わる仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校のことを言います。

２回目の学校運営協議会では、第１回で承認された「学校運営に関する基本的な方針」に基づいた、本校の教育活動や取組について説明をしました。

また、代表委員会の児童が「いじめ防止の取組」について発表しました。（以下、説明のスライド）
の

発表する代表委員の大東っ子たち

代表委員会の取組について、委員の皆様から励ましの声をいただきました。

○あいさつ運動はとてもよい。あいさつをしたい気持ちがあっても声に出せない子もいる。小さい声でもできるようになるとよい。
○学校だけでなく、地域でもあいさつができるように大人も声をかけていきたい。
○子どもの目線でいじめ防止について考え、劇にして呼びかけていることがすばらしい。振り返りをして、後期の劇にいかしてほしい。

そして、「子どもたちの『エージェンシー』をはぐくむ学校・家庭・地域の取組」について熟議をしました。短時間ではありましたが、活発な話合いが行われました。

○あいさつ、責任感、競争心など、小学生のうちから人間性を身に付けていくべきである。まずは、あいさつである。
○人間性が土台となって、自分で自由に考え、主体的に活動、表現できるようになる。そのときに周りの大人は批判しないことが大事である。
○失敗してもいい雰囲気の中、安心感をもって過ごすことで自己肯定感がもてる。そうすると、自分の課題や困っていることを言葉にしたり、目標をもって積極的に取り組んだりすることができる。
○弱い立場の人や年下の子に優しさをもって接する心、他者の気持ちに共感して受け止めることができる力もつけていくとよい。
○学校外の習い事やスポーツ少年団等の場で仲間や大人とのつながりが広がり、助けてくれる人が増える。一番は家庭であってほしい。時間がなくても子どもの話をしっかり聞いてあげたい。

２グループで熟議を行い発表しました

たくさんの建設的で温かい御意見をいただきました。今後、子どもたちの「エージェンシー」をはぐくむ教育活動の充実に向けて取組を検討していきます。

次回の学校運営協議会では、「本校の取組の評価」及び「来年度の学校運営に関する基本的な方針の仮承認」を行います。

６月２４日に配信した「コミュニティ・スクールだより」の委員紹介に誤りがございました。次のとおり訂正の上、深くお詫びを申し上げます。　【誤】◎川原　信子（ＰＴＡ副会長）　【正】◎川原　伸子（ＰＴＡ副会長）